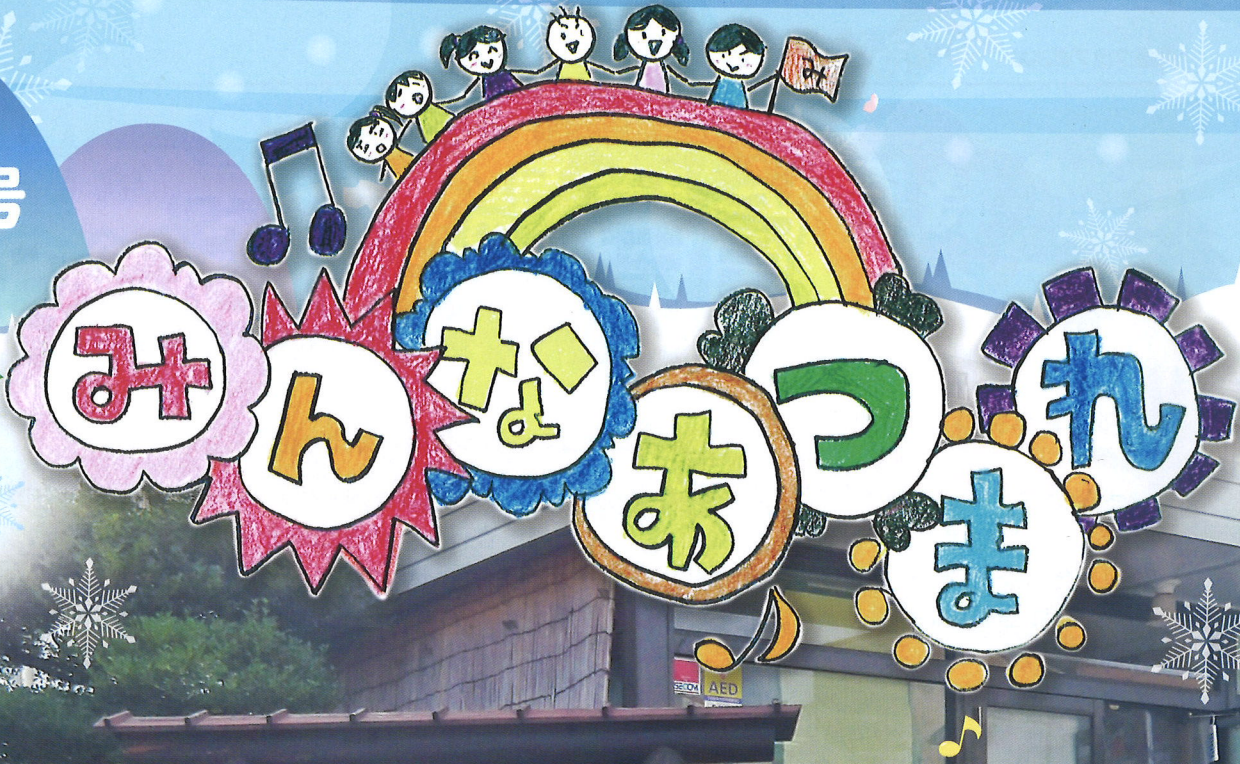


児童クラブだより

第115号

2025年12月23日



第2どろんこ
児童クラブ
横浜市みらい創造財団



特集

言葉がけのちから

私たちは日々多くの言葉を使っています。みなさんは、“言葉がけ”と聞いてどのようなイメージをお持ちでしょうか？

言葉がけとは、ただ声を掛けるだけではなく、相手がその声掛けをどう受け取るかまでを想像し、発信する言葉のことです。

また、言葉は使い方次第でもあります。誰かの一言や励ましで思いがけず元気や勇気をもらえたり、その反対に心ない言葉に傷つき、落ち込んだり…誰にも経験があるのではないのでしょうか。

今号では、子どもたちと過ごす日常で私たちが意識している“言葉がけ”について特集をします。



表紙：
写真提供(第2どろんこ児童クラブ)
第2どろんこ児童クラブは、2026年3月31日をもって閉所が決まっています。

特集

言葉がけのちから

言葉がけ

～児童クラブの日常～

「ただいま…」あれ、何となく元気がないな、今日はどうしたのかな?という時には、意識的に相手の気持ちに寄り添った“言葉がけ”を選択することがあります。

「おかえり」や「元気ないね」と声を掛けるだけではなく「おかえり、今日もおやつを用意して帰りを待っていたよ」と話し掛けます。声掛けに少しの言葉と感情をプラスすることで、ただ「おかえり」と言われるよりも「私は、あなたのことを待っていたよ」という特別感と温もりが伝わります。そして「今日のおやつは何?」、「今日、実はね…」という会話へとつながりやすくなります。

こういった何気ない言葉がけを幾度も繰り返しながら、相手への信頼や理解が深まり、安心できる関係を築いています。



言葉がけ

～言葉のもつ不思議なちから～

言葉には不思議なちからがあります。

考えが行き詰った時、誰かと世間話をするだけで気持ちが軽くなったり、思いがけず物事の見方や視点を切り替えるヒントをもらえたりすることがあります。

また何気ない「いつも、ありがとう」という感謝の言葉や「いつも、頑張っているね」という応援の言葉は、他者に気付いてもらえたという喜びから素直に嬉しく、そしてとても自信がつきます。

さらに相手を思いやる言葉がけをすることでコミュニケーションの機会が増え、お互いの心に余裕が生まれると思います。

言葉は、関わる人への影響だけではなく、発言をする自分自身にも同じように力を与えてくれるのではないのでしょうか。「大丈夫! きっとできる」とポジティブな言葉を意識して発言することで思い切った挑戦ができたり、やる気を引き出す原動力になります。

このように、言葉には自分自身をも変える計り知れないちからがあるように思います。

ポジティブな言葉がけは、決して特別な場面だけではなく、日常生活の中でこそ実は大きな力を発揮するのではないのでしょうか。





みらぞうが 鵜沼高校 児童クラブ にやってきた 25



地域のなかで

児童クラブの子どもたちの部活動・同好会体験! の巻

～はすいけ児童クラブ(鵜沼小学校区)～

夏休みのある日、はすいけ児童クラブの子どもたちが鵜沼高校の部活動・同好会体験に行く聞き、みらぞうも様子を見に行きました。

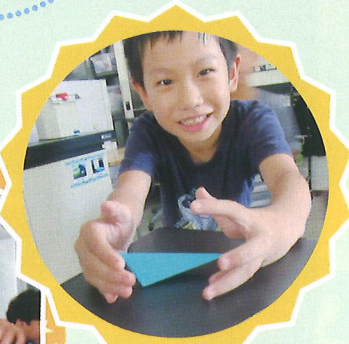
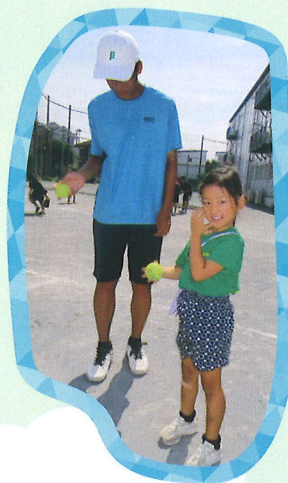
前日に続き2日目となるこの日は、テニス部と奇術同好会の体験会。高校生のお兄さんお姉さんと会ふの、ちょっと緊張するなあ。

テニス部コートに到着すると、まずはしっかりと向き合い、ご挨拶。次にテニス部のお兄さんお姉さんがはすいけ児童クラブの子どもたちを笑顔で手招きして、バディが組まれたよ。「何年生?」と、さっそく会話が弾んでいるみたい。



ボールをバウンドさせることから始まり、次はキャッチボール。拍手を入れたりワンバウンドを入れたり、少しずつボールに慣れるようにメニューが組まれているんだね。「ナイスー」「上手!」「いいね、いいね」等の励ましの言葉に、子どもたちの緊張もほぐれてきた。ボールに慣れたら次はラケットが登場。ラケット面にボールを乗せてポンポン♪

ラケットに慣れたらいよいよ実際にボールを打つよ。「お水大丈夫?」と体力を気遣いながら「連続5回」「頑張るね」等、様々な言葉で子どもたちを応援するお兄さん、お姉さんたち。みんな優しいなあ。子どもたちもそれに応えるように真剣に楽しそうに取り組んでいたよ。



鵜沼高校奇術同好会は、近隣の児童館などでパフォーマンスを披露することもあるみたい!

何年も前から交流を重ねている鵜沼高校とはすいけ児童クラブ。帰り際には「鵜沼高校の文化祭はいつ?」と質問の様子や、テニス部でも奇術同好会でもたくさんの笑顔が溢れている様子から **地域の絆** を感じたみらぞうでした。



みらぞう、次はどの児童クラブに!? お楽しみに♪



オープンエア・コミュニティ ～児童クラブ交流会～

今年度で4回目となりました
「オープンエア・コミュニティ～児童クラブ交流会～」
in 湘南台公園の様子をお知らせします。

日頃それぞれの児童クラブで活動をしている子どもたちの交流や保護者がつながりを持つ場として今年度も児童クラブ交流会を開催しました。

児童クラブの子どもたちの**工作・ゲーム**といったブースの他に、**ステージ発表**がありました。ブースの係や発表では、子どもたちの輝いている笑顔をたくさん見ることができました。



また保護者実行委員による温かい飲み物ブースと、今年度新たにチャレンジブースの「わなげ」を開設。協賛企業ブース也大盛況でした。

子ども・保護者・指導員・地域のみんなに楽しい時間を過ごしていただくことができました。

地域事業

「聞こえない世界の理解」～デフリンピックって何？～

夏休みに辻堂青少年会館主催の世代間交流事業「聞こえない世界の理解」～デフリンピックって何？～に、浜見・風の子・海の子・空の子児童クラブで参加をしました。

11月15日～26日の12日間に渡り行われた「東京2025デフリンピック」は、100周年の記念すべき大会であり日本では初めての開催でした。

子どもたちは「みんなのデフリンピック」という映像を鑑賞し、デフリンピック種目でもある、デフテニスプレーヤーの金子さんからデフリンピックの目的や競技についてクイズ形式で教えていただきました。

また、手話や筆談を通じて気軽に話しかけてもらいたいという思いと、聞こえないことで起こる日常生活の困りごとを子どもたちにわかりやすく話してくださり、聞こえない世界への理解が深まりました。

私からみんなに伝えたい2つのこと

- チェレンジ(挑戦)する
- わからないことは聞く



講師

デフテニス 金子碧斗選手



児童クラブの様子や財団のイベントなどの情報を財団Instagramにて更新中です。
是非、フォローしてください。

いいね!も
よろしくね♪



公益財団法人
藤沢市みらい創造財団

〒251-0054
藤沢市朝日町10-8 藤沢青少年会館内
放課後児童育成課

TEL 0466-21-6709
FAX 0466-28-0009
URL <https://www.f-mirai.jp>
E-mail jidouclub@f-mirai.jp

